

令和4年5月期・第1四半期連結決算の概要

I. 令和4年5月期・第1四半期連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、ジェネリック医薬品の普及が拡大する一方、令和3年4月に薬価改定が行われ、今後毎年薬価改定が実施されることが決まっております。医薬品業界の事業環境は厳しいものとなることが予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

当社グループにおける原薬につきましては、消炎鎮痛剤原薬、食道炎治療剤原薬、疼痛治療剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売増加があり堅調に推移し、売上高は5,427百万円となりました。

製剤につきましては、自社開発ジェネリック医薬品及び高薬理活性製剤の販売増加、医療用医薬品における新規の新薬や長期収載品の製造受託の販売増加があり堅調に推移し、売上高は6,250百万円となりました。

健康食品他につきましては、堅調に推移し、売上高は68百万円となりました。

II. 連結損益の状況

① 損益実績

(百万円)

	令和3年5月期・第1Q		令和4年5月期・第1Q		対前期比較		令和4年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	13,703	100.0%	11,746	100.0%	△1,956	-	42,500	100.0%	27.6%
売上原価	10,564	77.1%	8,470	72.1%	△2,094	-			
売上総利益	3,139	22.9%	3,276	27.9%	+137	+4.4%			
販管費	1,192	8.7%	916	7.8%	△275	△23.1%			
営業利益	1,947	14.2%	2,360	20.1%	+413	+21.2%	5,900	13.9%	40.0%
営業外収益	37	0.3%	73	0.6%	+35	+94.4%			
営業外費用	19	0.1%	13	0.1%	△5	△30.1%			
経常利益	1,965	14.3%	2,419	20.6%	+454	+23.1%	6,000	14.1%	40.3%
特別利益	0	0.0%	246	2.1%	+246	-			
特別損失	5	0.0%	24	0.2%	+18	+338.2%			
税引前利益	1,959	14.3%	2,642	22.5%	+682	+34.8%			
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,321	9.6%	1,825	15.5%	+503	+38.1%	4,250	10.0%	42.9%

* 連結子会社数 3社 (大和薬品工業(株)、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

* 返品調整引当金戻入額は、売上原価に含めております。

② 品目別売上高

(百万円)

	令和3年5月期・第1Q		令和4年5月期・第1Q		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	7,163	52.3%	5,427	46.2%	△1,736	-
製剤	6,478	47.3%	6,250	53.2%	△227	-
健康食品他	61	0.4%	68	0.6%	+7	-
合計	13,703	100.0%	11,746	100.0%	△1,956	-

* 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年5月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。当該変更により売上高、売上原価はそれぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は無く、売上高、売上原価は対前年同四半期増減率を記載しておりません。

III. 設備投資の状況

(百万円)

	令和3年5月期・第1Q	令和4年5月期・第1Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額(発生ベース)	949	599	△350
無形固定資産の投資額(")	1	0	△1
合計	950	599	△351

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・包装製造設備等	58	ダイト 包装設備の増強・更新
・製剤製造設備等	37	ダイト 製剤設備の増強・更新
・品質保証棟建設	84	ダイト 品質保証棟の新設

決算発表・補足説明資料 (2/3)

令和3年10月13日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

IV. 減価償却費の状況 (百万円)

	令和3年5月期・第1Q	令和4年5月期・第1Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	671	749	+77
無形固定資産等	9	11	+1
合計	681	760	+79

V. 研究開発費の状況 (百万円)

	令和3年5月期・第1Q	令和4年5月期・第1Q	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	532	191	△340

VI. 参考 品目別売上高 新収益認識基準適用後の数値比較 (百万円)

	令和3年5月期・第1Q		令和4年5月期・第1Q		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	5,280	46.3%	5,427	46.2%	+146	+2.8%
製剤	6,053	53.1%	6,250	53.2%	+197	+3.3%
健康食品他	61	0.5%	68	0.6%	+7	+12.4%
合計	11,395	100.0%	11,746	100.0%	+351	+3.1%

* 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年5月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。令和3年5月期第1四半期の業績については、当該会計基準等を適用したと仮定して算定した数値を記載しております。

令和4年5月期・通期連結決算の予想

令和4年5月期の通期連結業績予想につきましては、令和3年7月14日に公表いたしました予想数値を修正しておりません。

I. 連結損益の予想

① 損益予想 (百万円)

	令和3年5月期 通期		令和4年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	40,007	100.0%	42,500	100.0%	+2,492	+6.2%
営業利益	5,908	14.8%	5,900	13.9%	△8	△0.1%
経常利益	6,067	15.2%	6,000	14.1%	△67	△1.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,246	10.6%	4,250	10.0%	+3	+0.1%

参考：新収益認識基準適用前後の決算数値 (百万円)

	令和3年5月期 (旧基準)	令和3年5月期 (新基準)	令和4年5月期 予想 (新基準)
売上高	48,714 (+8.3%)	40,007 (-)	42,500 (+6.2%)
経常利益	6,067 (+11.1%)		6,000 (△1.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,246 (+7.6%)		4,250 (+0.1%)

* かつこ内は前期比増減率。

* 新基準での令和2年5月期売上高を算出していないため、令和3年の対前比は算出しておりません。(－表記)

②品目別売上高 (百万円)

	令和3年5月期 通期		令和4年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原 薬	18,363	45.9%	19,750	46.5%	+1,386	+7.5%
製 剤	21,336	53.3%	22,450	52.8%	+1,113	+5.2%
健康食品他	307	0.8%	300	0.7%	△7	△2.6%
合 計	40,007	100.0%	42,500	100.0%	+2,492	+6.2%

* 令和4年5月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。令和3年5月期の業績については、当該会計基準等を適用したと仮定して算定した数値を記載しております。

II. 設備投資の状況 (百万円)

	令和3年5月期	令和4年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	5,335	4,970	△365
無形固定資産の投資額 (")	59	130	+70
合 計	5,395	5,100	△295

主な設備投資の内訳 (百万円)

設備内容	金額	備考
・ 原薬製造設備等	1,000	ダイト 原薬棟の新設 1,000百万円 ※設備投資総額3,500百万円。
・ 包装製造設備等	699	ダイト 包装設備の増強・更新
・ 製剤製造設備等	767	ダイト 製剤設備の増強・更新
・ 品質保証棟建設	262	ダイト 品質保証棟の新設 ※設備投資総額350百万円。

III. 減価償却費の状況 (百万円)

	令和3年5月期	令和4年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	3,114	3,350	+235
無形固定資産等	39	50	+10
合 計	3,154	3,400	+245

IV. 研究開発費の状況 (百万円)

	令和3年5月期	令和4年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	2,032	1,800	△232

以上